

参加企業経営者が涙した！
実践型勉強会





気づく力を創る 勉強会

限定

すぐに活かせる今までにない実践型勉強会

8
名

第1期好評により
第2期全3回8月開講決定！！
S・Yワークス本社及び佐藤家にて開催





第1期に送り出した 経営者からの声

送り出してくださった経営者の皆様をお招きしての“おもてなしの場”。受講者たちがチームとなり、会場づくり、料理、司会進行まですべてを自分たちで創り上げます。SY流で学んだ「気づく力」を実践する場に、参加された経営者からは次のような声が寄せられました。

敬意が場をつくり、チームをつくる

「おもてなし」の根底にある“敬意”に気づく時間

株式会社美十 代表取締役社長 CEO 酒井 宏彰 様

「来て本当に良かったと思いました。おもてなしは決して簡単なことではない。**その根底に“敬意”がある**ことを、場全体から感じました。想いは必ず伝わる。チームワークの力を強く感じる、素晴らしいおもてなしの時間でした。」



“気づく力”を本気で高める実践の場

株式会社トライアングル 代表取締役 前島 勝弥 様

「正直、どんなセミナーなのだろうと思いつつも、“気づく力”をさらに高めてほしい3名を送り出しました。努力を重ね、ここまで成長してきた彼らが、SY流のおもてなしを“提供する側”として学ぶことで、気づきの質が一段深まったと感じています。」

実践的で、現場にすぐ生きる。これほど速効性のある学びは、なかなかないと思います。」

受講生として参加した経営者

立場を変えたからこそ気づけた、本当の価値

医療法人社団健歯会 吉原歯科医院

理事長 吉原 正明 先生

「いつもは“上から見る立場”でしたが、今回は“やっている側の視点”に立てたことで、支える人たちのエネルギーや想いに初めて気づきました。この感性は、本物を見て、感じなければ身につかない。」

日常の中で気づき続けることの大切さを、強く実感しました。会社も立場も違う人たちが、壁を越えて**一つのチームになる**。こんな体験は、なかなかありません。本当にありがとうございました。」



第1期受講者の声

— 実践から得た気づき —

第1期の受講者たちは、実践を通して部下との関わり方や、リーダーとしての在り方に向き合ってきました。その経験の中で得た気づきと変化の声をご紹介します。



場をつくるリーダーシップ

(製造業 店舗責任者)

「率先して引っ張るリーダー像だけが正解ではない。意見を出しやすい“場”をつくることも、立派なリーダーの役割だと気づきました。料理班のリーダーを担当し、メンバーの考えをまとめる難しさもありましたが、一人ひとりの想いに耳を傾けることで、**“みんな**

で創る”チームになれたと感じています。気づくことは簡単ではないからこそ、これからも意識して**相手を思う関わり**を続けていきたいです。」

相手の想いを起点に行動できるリーダー

(歯科医院 院長)

「自分は何もできていないのでは?と思うほど、周りの力に支えられた勉強会でした。ただ一つ大切にしていたのは、情報が円滑に共有されること。

当日、皆の表情が少しずつ変わっていくのを見て、“支える関わり”にも確かな価値があるのだと実感しました。また、つい形や結果を先に考えてしまい、**相手がどう感じるかという一番大切な部分**を忘れがちだった自分にも気づきました。常に「最初の気持ちの発端」に立ち返り、相手の想いを起点に行動できるリーダーで在りたいと思います。」



役割の“意味”に気づいたとき、人も場も動き出す

(サービス業 事業部統括リーダー)

「仕事は**“やらせる”ものではなく、その先にある価値や喜びに気づいてもらうもの**。役割の意味を共有することで、人も場も動く実感しました。SYさんの社内イベントは、すべてが“お客様起点”で設計され、何を望み、何に喜び、どんな体験を持ち帰ってほしいのかを本気で考え抜いていると感じました。**学びの本質は、教えられることではなく、気づき、考え、行動し、伝えること**。この連鎖を、次の実践の場で活かしていきます。」



第1期受講者の声

支える側に立って気づいた、リーダーの本当の役割

(サービス業 エリアディレクター)

「支える側に回ったことで、“変化に気づき、手を差し伸べること”の大切さを実感しました。おもてなしは、計画・準備・役割分担・情報共有・チームワークなど、多くの要素が積み重なって初めて成り立つ、非常に奥深いものだと感じています。する側に立ったからこそ、『どれだけ相手のことを考えられているか』が結果に直結することに気づきました。技術や接客だけでなく、そこに至るまでの**プロセスを大切にすること**。今回自分が救われたように、現場でも**一人ひとりの変化に気づけるリーダーでありたい**と思います。」



相手の“感じ方”に気づくことが、育成の原点

(サービス業 人財採用人財開発ディレクター)

「おもてなしは、相手がどう感じるかを想像し続けること。そのプロセス自体が楽しく、ワクワクするものだと気づきました。」

花の研修を通して、相手の良さを活かすも潰すも自分次第だと感じ、**新人育成と深く重なる学び**がありました。この気づきを内定者交流会で実践し、人が育つ瞬間に立ち会える喜びを改めて感じています。」



気づきが“指導”を“関わり”に変えた

(製造業 エリアマネージャー)

「業種は違っても、“人に喜んでもらいたい”という想いは同じ。正解を教えるのではなく、“感じてもらう関わり”の難しさと大切さに気づきました。それぞれの回や準備の中で、皆が“より良いものを創りたい”という想いを持っているからこそ、その想いをどう形にするのか、具体的などころまで踏み込んで考えることの大切さを実感しました。**想いを一つにしていくプロセス**そのものが、学びなのだと思います。明日からの**指導の在り方が、確実に変わります。**」



気づかなければ何も変わらない。気づきの力がなければAIが全てを代行してくれるそんな企業に未来はない。だからこそ気づきの力が一番の武器になる。AIと違い、人間には創造力があります。しかし、気づかなければ何も変わりません。気づきの力がない人間はAIが全てを代行してしまう時代。そんな企業に未来はないのです!! だからこそ気づきの力が一番の武器になります。継続を望む多くのお声をいただき、第二期がスタートします。この第二期では、その「気づきの力」をとことん深め、発揮していただきます。

気づく人が企業の成長を創る

人を活かし、場を活かすその起点は「気づき」

次世代リーダーに必要なのは「気づきを力に変えること」

次世代リーダー・育成担当としての“入口に立つ人財”を育てる実践プログラムです。

S・Yワークスが培ってきた「感性・気づき・関わり方」を、体験を通して体得します。部下の小さな変化に気づき、成長を促す力。場の空気や人の想いを感じ取り、前向きな流れをつくる力。そして、**TOPの想いを、現場で“行動”に変えていく力。**

AIが進化する時代だからこそ、組織を動かすのは目の前の人と場において「何に気づけるか」。まだ言葉になっていない期待や希いを受けとめ、行動につなげられるかです。人を活かし、場を活かし、経営の想いを現場につなぐ存在へ。その一步を育てる場が、ここに 있습니다。

- **経営者の想いを実現する力**

経営者の言葉の奥にある意図・願い・覚悟に気づき、相手に合わせた言葉と行動で、現場に浸透させていく力。

- **部下・後輩を育てる力**

目に見える成果だけでなく、小さな変化・揺らぎ・迷いに気づき、関わりの方によって成長を引き出していく力。

- **場をつくる力**

役職や立場ではなく、自分自身を行動の起点として、場の空気を整え、創り出す力

開催概要

第1回 自分への気づき

8月24日(月) 12:30~16:30

— 花のワーク —

花を“きれいに活ける”ことが目的ではありません。花の個性を感じ、活かし、場に調和させる。そのプロセスは、人財育成やチームづくりと驚くほど似ています。花を選び、テーマを決め、形にする。どんな花を選ぶのか。どんなテーマを持つのか。どこを活かし、どこに手を加えるのか。その一つひとつが、部下の強みや可能性に気づき、関わり方を考え、言葉を選ぶことと重なります。①人を活かすとはどういうことか②自分は何を見て、何を見落としているのか③関わり方ひとつで、相手の可能性が変わるということ。第1回では、「人を活かすとは、自分の見方・関わり方で決まる」という本質に気づくはず。受講生からは、「花を活けながら、育成と同じだと感じた」「同じテーマでも、活け方も表現も一人ひとりまったく違う」という声も聞かれました。体験するからこそ、気づきが自分のものになる。花のワークは、その第一歩です。

特別講話「組織を変える気づきの力」(動画) 代表取締役 佐藤 芳直

第1期受講生作品



個人ワーク



テーマ:「喜び」

グループワーク



テーマ:「喜びの先に」

正解も間違いもなく全てが正しい by 表千家の先生より

第2回 場を創る力

茶の湯に学ぶ“気づき”の実践 9月29日(火) 12:30~16:30

— 茶の湯から学ぶ「場のつくり方」 —

茶道を通して、“場はどう生まれ、どう整え、どう深まっていくのか”を体感します。一服のお茶の時間には、空間の設え、所作、間、言葉にならない気遣いなど、場をつくるためのすべての要素が凝縮されています。①空気を整える在り方②相手を想像し、先回りする感性③全体を見渡しながらか調和を生み出す視点「もてなす」「もてなされる」を超えて、人と人がどう関われば場が育つのか。五感をひらきながら、その本質を学びます。後半は、第3回のおもてなしに向けた準備の時間。茶の湯で体感した“場づくり”を、自分たちの企画・設え・関わり方にどう落とし込むかを形にしていきます。

体験から実践へ。場をつくる力を、実際の準備の中で磨いていく回です。感性で学び、実践で深める時間を、ぜひ共に創りましょう。

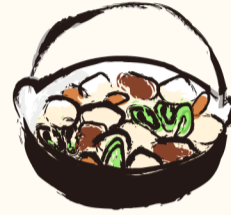


☆ご招待☆ 10月中旬 社内イベント 芋煮会

S・Y社内イベントは、若手育成を目的とした取り組みです。コンセプト・設え・料理・飲み物に至るまで細部にこだわり、「どうすれば相手に喜んでもらえるか」を本気で考え、最高のおもてなしを形にします。企画する側も、参加する側も主体的に関わり、共通の目的に向かってチームで一つの場を創り上げていきます。このイベントの根幹にあるのは、主体性が利他創喜への入り口であるという考え方です。利己ではなく利他を第一に考え、誰かの喜びを創り出すことが、自分自身の成長にもつながっていきます。

今回のイベントは、S・Yワークスが大切にしている「おもてなしの心」「気づきのアンテナ」「一座建立」を体感していただく場です。どのような関わりが相手の喜びにつながるのか。その気づきが、この場の随所に散りばめられています。体験し、実感することで、学びはより深まります。ぜひこの空間を楽しみながら、多くの気づきを持ち帰ってください。

テーマ：調和と多様性
コンセプト 芋煮万博IN仙台



第3回 相手を思う気づき 11月17日(火) 10:30 ~19:00 18日(水) 9:30 ~11:00

☆ 経営者の方にもお越しいただく回!! ☆
☆ 経営者の方へのおもてなし ☆

— おもてなし実践 (佐藤家) —

組織やチームを動かす力の起点は、「相手を想う気づき」にあります。佐藤家で、経営者の方へのおもてなしを実践します。実践には、思考プロセス、マネジメント力、運営時の段階的把握力など、システムエンジニアリング的プロセスが重要です。企画 → 設計 → 開発 → 運用 → 保全という流れの中で、次の力を体感していきます。

- ・相手の喜びを起点に考えることで、相手に合わせた個別対応ができるようになること
- ・コンセプトを描き共有することで、チームの力が一つにまとまること
- ・役割を持ち、実践し、振り返ることで、次につながるチーム力が育つこと

こうした経験を通して、利他創喜の実践が組織を動かす力になることを学びます。

※事前ZOOM打ち合わせ (2~3回×30分) を予定しています。後日受講生と日程を調整いたします。
※宿泊が必要となります

最終まとめ講座「組織で発揮する気づき」

代表取締役 佐藤 芳直





人財創造経営コンサルティング

株式会社S・Yワークス

宮城県仙台市青葉区一番町1-2-25 NSビル8階

TEL:022-722-2007 FAX:022-722-1770

担当：門間